

# 力糸ヨリ器(オプション) 取扱説明書

## 【作業手順目次】

stage1 PE単線を治具に取り付る方法

stage2 二軸自転動作の操作説明

stage3 本体設置のピンの活用方法

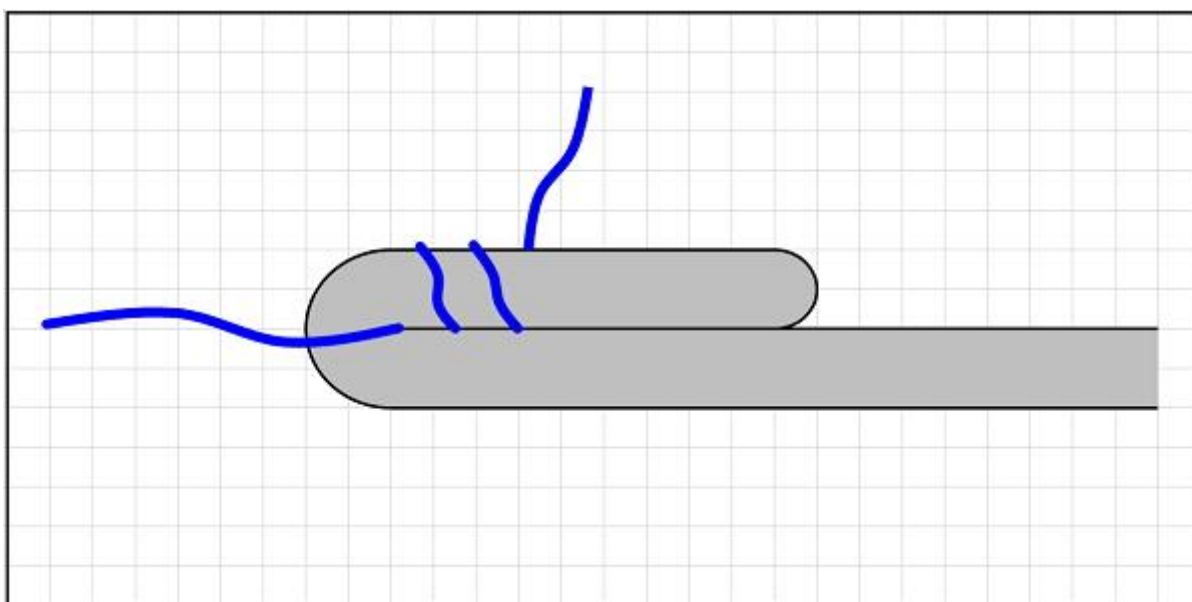
stage4 二軸公転動作の操作説明

stage5 力糸ヨリ器の実践的な使い方

### ◆stage1 PE単線を治具に取り付る方法◆

PE単線を単線テーパ化し、その細くなった先端を力糸ヨリ器の二軸の先端V字クリップに挟んで止めます。止め方は下図のように2~3回掛けて確実にセットしてください。作業途中で外れると厄介なことになります。

なお2回目や3回目は下図のように線材の折り曲げ点の奥深くで挟まずに少し距離をおいて螺旋状に巻いてください。ラインを挟んだら締めパイプを線材に被せることで完全に締め付けられます。この時に先ほどの折り曲げ点の奥深くにラインが溜まっていると締めパイプでの締め付け作用が効かないのでご注意ください。



◆stage2 二軸自転動作(下ヨリ)の操作説明◆

アクリルケース本体に公転防止となるウエイト付クリップを下図のように挟んで装着します。こうすることで、このウエイトによりアクリルケース本体が回転しないため2本の軸はそれぞれ自転します。必ずこのウエイト付クリップを使ってください。手で持っただけでも同様な事は出来ませんが、万が一高回転で作動しているアクリルケースが破損した場合は大怪我をしますので絶対に手で操作しないでください。

また、回転数が高すぎるとギアに負担がいきますので、あまり高回転(3000rpm 以上)では回さないでください。クリップの下方にはオモリを下げていますが、回転が高すぎてクリップが回ってしまう場合は明らかに回転が速すぎます。

この二軸自転を左回転から始めるのか、右回転から始めるのかは「東海釣り三味さんの動画」を見て習得してください。基本的に dompotime からは力糸ヨリ器の動作説明のみで実際の作業方法の説明は致しません。



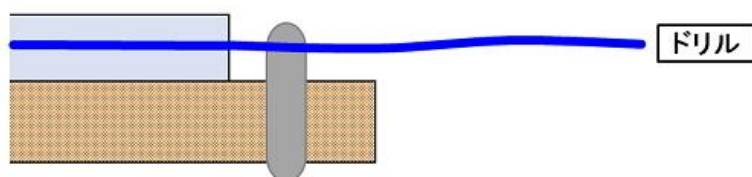
### ◆stage3 本体設置のピンの活用方法◆

カ糸ヨリ器がオプション販売となった事から、2021年8月10日以降のカ糸自作治具(本体)の販売分からカ糸ヨリ器に活用する2本のピンが標準装備となりました。この2本のピンはstage2の下ヨリ作業中では、ピンの外側に分けてラインを通し2本のラインが重ならないようにするためのものです。次にstage2の下ヨリ作業が終わるとstage4の上ヨリ作業になるのですが、今度はピンの内側にラインを通してラインを重ねてヨリを入れていくためのものです。

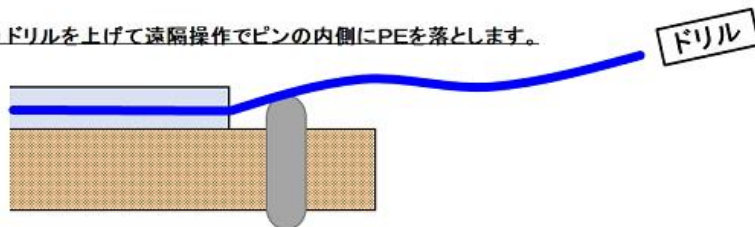
このラインを外側から内側に入れなおさないといけないのですが、ドリルを手で持って人は遠くにいるため遠隔操作で切り替わるように工夫しています。方法は水平に張っていたラインをドリルと一緒に上に上げてラインを一旦斜めにします。ピンの高さはギリギリの高さにしてますのでラインはピンを乗り越えて内側に落ちていく仕組みです。ピンは完全に固定していないのでピン高さはお好みで可変して微調整できます。

2021年8月10日以前に購入の方でも自作で追加することは可能です。東海釣り三昧さんが改造方法や寸法などを動画で紹介してますので参考にしてください。(説明書の最後に東海釣り三昧さんの動画紹介リストがあります。)

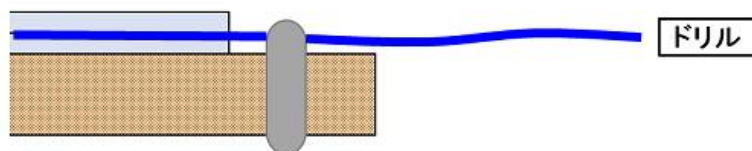
① ピン外側にPEで自転による下ヨリ作業。



② ドリルを上げて遠隔操作でピンの内側にPEを落とします。



③ ピン内側にPEで公転による上ヨリ作業。



◆stage4 二軸公転動作(上ヨリ)の操作説明◆

アクリルケース本体に装着しているウエイト付クリップを外します。ドリルの回転方向を逆にします。このようにすることでウエイトが無くなり二軸は自転せずに公転します。つまりstage2で下ヨリしたラインを逆回転で上ヨリして戻していくことになります。

下ヨリと上ヨリのバランスですが、下ヨリ回転数に対して上ヨリはその80%程度に留めた方が良い力糸になるそうです。このあたりの作業手順については「東海釣り三昧さんの動画」を見て習得してください。基本的に domptime から力糸ヨリ器の動作説明のみで実際の作業方法の説明は致しませんので予めご了承願います。なお、stage2の下ヨリと同様に高回転での使用は避けてください。



#### ◆stage5 力糸ヨリ器の実践的な使い方◆

このstage5では、実際の作業手順は説明しません。どのようなことが出来るかは、下記のムービーを順番に再生して頂くと解る人には解ると思いますが、これを説明するとなると、domptime からそれが出来るとは思えませんので下記に「東海釣り三昧さん」の発明に至る youtube 動画を時系列で紹介するに留めます。下記動画を順番に見ていくと解る人には解るかもです。

普通は、これらの動画を見ても全くわからないと思いますが、既に力糸を自作されていて自分で工夫されている人や、「東海釣り三昧さん」の youtube を見てきて参考にしてきた人は何故か動画をみて理解して真似することが出来るみたいです。(ちなみに domptime では治具の動作はわかりますが使い方は理解していません)

---

この力糸ヨリ器は、販売要望の問い合わせが多くあったため販売することに切り替えましたが、手作業で真似できない人がこの治具を使えば誰でも簡単に出来るようになるのではなく、手作業で真似できている人ならば治具を活用して自作レベルを超えて最高品質の力糸を作れるといったイメージが正しいと思います。具体的な使用方法は domptime からは致しませんので予めご了承願います。

---

また、作り方は下記動画を基本に参考にされて、その後は各自で試行錯誤して工夫されて使われればと思います。(アクリルケースを手で持って回すことは危険ですので絶対にしないでください。)

---

「力糸自作治具」で通常の自作力糸を作成する場合は器用な人であれば6分程度で制作可能ですが、この最高品質の自作方法を行う場合は「力糸自作治具」と「力糸ヨリ器」の両方を使ったとして20分～25分程度となります。その代わり自作レベルを超えて最高品質のものになるようです。では頑張ってください。

---

[①2020-05-02](#)

[東海釣り三昧さん\(結び目無しで7本抜き！の発見と公開\)](#)

この動画で基本的な結び目無しの自作方法がどのような仕組みで達成されているのかが解ります。

---

[②2021-02-09](#)

[東海釣り三昧さん\(dompotime 力糸自作治具使用の場合\)](#)

前半を dompotime の力糸自作治具を使って、仕上げを結び目無しの自作方法で仕上げられています。

---

[③2021-05-28](#)

[東海釣り三昧さん\(力糸ヨリ器のテスト依頼分\)](#)

前半を dompotime の力糸自作治具を使って、仕上げは dompotime の力糸ヨリ器で仕上げられています。この動画で力糸ヨリ器の基本的な活用方法が解る人には解るらしいです。

---

[④2021-07-21](#)

[東海釣り三昧さん\(最高品質の自作手段の新たな発見と公開\)](#)

最後に東海釣り三昧さんが、力糸ヨリ器を最大限に活用して新規の自作方法を開拓されました。もしかしたら、ひょっとしたら、市販品を超えるかと思えるくらいの高品質な自作力糸になるのかもです。この動画では力糸自作治具(本体)の改造方法も紹介されています。MDF板にピンを2本立てるだけなのですが、その位置や寸法なども紹介されていますので、2021年8月10以前に購入された方で改造したいと思う方は参考にできると思います。2021年8月11日以降に本体を購入されたタイプは標準装備で2本のピンが刺さっています。